

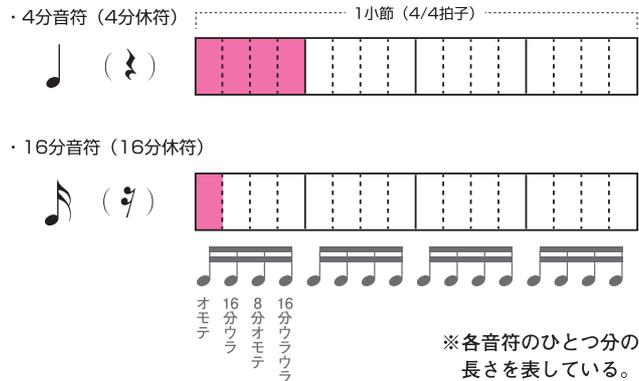
【注意点1】



16分音符の長さ  
拍子の構造を覚えよう

このメイン・フレーズを構成する“16分音符”は、1拍（4分音符）の中に音が4つ入る音符となる。1拍内の4音は、それぞれに名前があるので覚えておこう（図1）。初心者は16分音符がうまく取れないことが多いので、まずはメイン・フレーズ1小節目1拍目の5弦開放のみをくり返し練習してみてください。

図1 16分音符と16分休符の長さ



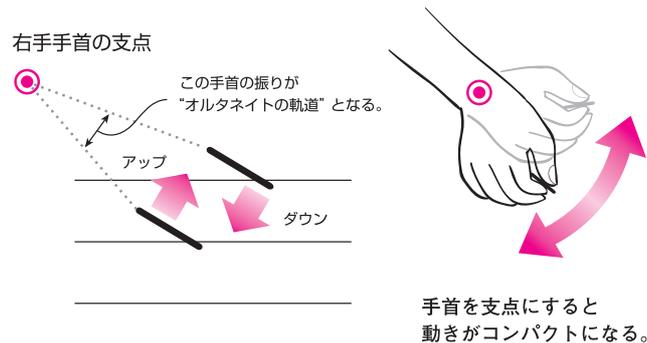
【注意点2】



少し角度をつけて  
ピッキングするべし！

ダウン（■）とアップ（∨）をくり返すオルタネイト・ピッキングは、右手を無駄の少ない動きで振ることが大切だ。特に速弾きを行なう時には、手首を支点にして（手首のスナップを若干利かせる）、弦に対して少し角度をつけてピッキングするとよいだろう（図2）。手首が力まないように注意しながら演奏してみてください。

図2 無駄の少ない高速オルタネイト・ピッキング



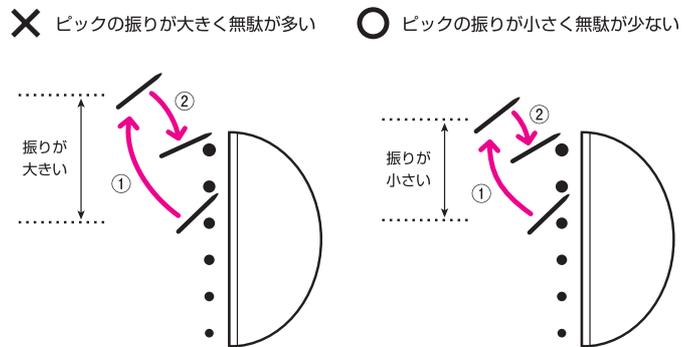
【注意点3】



右手の軌道を低くして  
滑らかに弦移動しよう

メイン・フレーズ3～4小節目の5弦5フレットから6弦開放への弦移動では、右手の軌道を小さくすることが大切だ。滑らかに弦移動するためには、アップ・ピッキングの完了とともに、ダウン・ピッキングの体勢に移る意識を持つとよい（図3）。鏡やスマホなどを使って、自分の右手の動きを確認してみるのもお勧めだ。

図3 スムーズな弦移動



【自分の右手の動きを確認】特に演奏を動画撮影してチェックすることは効果的だ。動画を客観的な視点で観て、自分のプレイの問題点を洗い出すべし！